



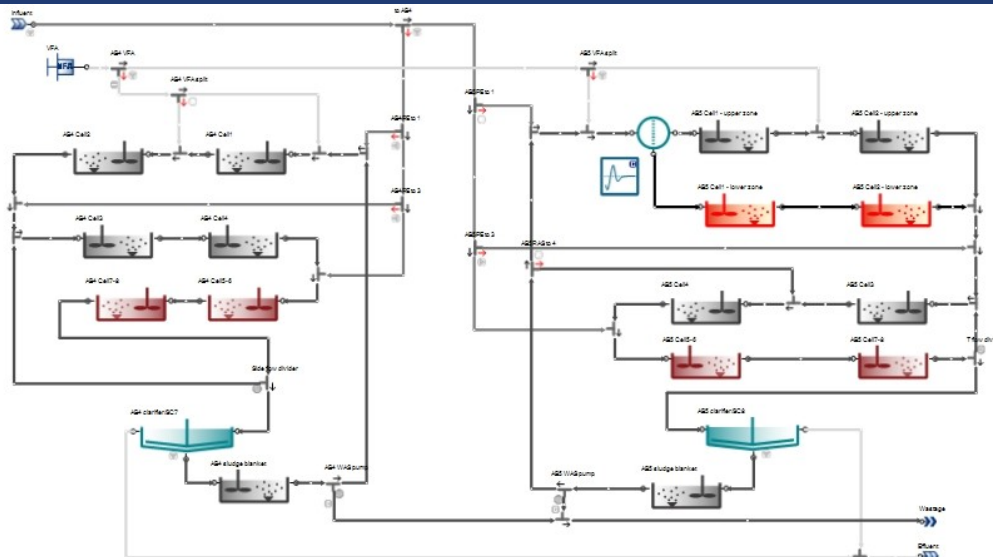
並列処理系列をもつ資源回収施設

EBPR に向けた 運転戦略の最適化

本プロジェクトの目的は、水資源回収施設(WRRF)における 2 系列の並列処理系のモデルを構築し、高度生物学的リン除去(EBPR)に向けた運転戦略を最適化することでした。

規模: 140,000 m³/d、345,000 人口当量

処理場モデルの構成



モデルの利用目的と結果:

処理場運転戦略の最適化

並列曝気槽を有する本 WRRF の構成では、A2O 方式と Westbank 型サイドストリーム EBPR 方式のいずれの運転も可能です。観測された流入シナリオと運転条件のもとで最良の性能を得るため、返送汚泥(RAS)発酵に最適な嫌気滞留時間の決定など、運転パラメータの選定にモデリングを活用しました。柔軟な施設構成を持つ事業者がプロセスモデルの適用から便益を得られることを示す好例です。



事例集リンク

dynamita.co.jp/ja/services

お問合せは、日本Dynamita info@dynamita.co.jp まで

